

館山

# 韓国財団がブロンズレリーフ寄贈 「海の幸」制作の小谷家に

青木繁の代表作「海の幸」制作の地で、修復作



小谷家に設置されたブロンズレリーフと船田氏

業を終えて今月下旬に公原寸大に彫刻した「刻開予定の小谷家住宅」館画・海の幸」のブロンズ山市布良に、海の幸をレリーフが寄贈された。

館山美術会顧問の彫刻家・船田正廣氏が制作した塑像を、同氏と親交がある河正雄氏が理事長を務める韓国財団法人「秀林文化財団」が5枚のブロンズレリーフにした。戦後70周年、日韓国交正常化50周年を記念した取り組みで、韓国国内3か所に加え、小谷家住宅と福岡県久留米市の青木繁の旧居の計5か所に寄贈し、日韓交流の架け橋とした。

レリーフは、すでに小谷家住宅に設置され、先月に除幕式が行われた。なお、同住宅は24日にオープニングセレモニーがあり、29日から一般公開される。